

京都GPN-news vol. 22

TOPICS



京都グリーン購入ネットワーク 2010年度事業計画

京都 GPN の設立目的

- ① 環境にやさしい商品・サービスを京都府内に普及しグリーン市場を拡大する。
- ② 京都府内で環境にやさしい商品・サービスを提供している事業者の活動を促進する。
- ③ グリーン購入に取り組む消費者・事業者・行政の情報交換と活動促進の場とする。



この重点課題を実現するため、2010年度、右の事業に取り組めます。

- ∟ 地域性を活かす
- ∟ 社会的な影響を高める
- ∟ 認知度を高める
- ∟ グリーン購入の取り組みの体系化

広報コミュニケーション活動



1) 買い物でエコキャンペーン

目的	府内でグリーン購入の認知度を高め、グリーン購入の取り組みをひろげることによって、グリーン市場の形成拡大に寄与する。(共催：京都市ごみ減量推進会議)
内容	グリーン購入のポイントをよびかける「買い物でエコ！キャンペーン」を実施する。 今年度は、以下の項目を重点的に取り組む。 1) キャンペーンに参加する団体の取り組み内容の強化 2) 社員、職員、住民等の取り組み状況のフィードバック

2) 会員、商品、紹介サイト（ウェブサイト）の充実

目的	会員になるメリットを創出する。
内容	会員事業者および取扱いグリーン商品を京都GPNのウェブサイト上で紹介する。

3) 広報コミュニケーション活動

目的	グリーン購入の理解を深めたり、情報交換をする場を創出する。
内容	会員紹介、イベント等告知媒体として、京都GPNニュース（年4回）を発行、ウェブサイトの運営。

調査研究活動

1) ホテル、旅館など宿泊施設の環境の取り組み推進事業

目的	京都の有力産業である観光産業（旅館・ホテル）のエコロジー化を促進する。もってエコロジカルな地場産業振興にも寄与する。
内容	宿泊施設側に対し、環境の取り組み状況について尋ねるアンケートを実施し、結果を報告会等で紹介する。また、京都府内の宿泊施設に対し、環境の取り組みの一斉行動を呼びかける。

2) 社員食堂での地産地消推進事業

目的	食の地産地消をすすめ、エネルギー輸送に伴うCO ₂ を削減、地域の経済、農業振興を促す。
内容	京都府内の社員食堂における地産地消を推進するため、府内産の食材を利用するキャンペーンを実施する。また、これらの取り組み結果を広くPRする。

3) 自治体のグリーン購入推進事業

目的	府内自治体へのグリーン購入普及。自治体会員の拡大。
内容	自治体担当者のグリーン購入への理解を深めるため、年に2回、研修会を実施する。

普及啓発活動

1) 環境ビジネスメッセ事業

目的	環境配慮型の事業を行う京都府内の事業者や買い手（事業者/自治体/市民）が、情報交換や交流をする場をつくることよって、環境ビジネスのさらなる活性化を図り、京都経済の活性化とグリーン化を進め、環境と経済が両立する持続可能な社会をめざす。
内容	環境ビジネスをテーマとした展示、商談コーナーなどを企画実施する。

2) 新入会員対象グリーン購入講座

目的	新入会員に、グリーン購入についての理解を深めていただき、より本質的な取り組みを広げるため。
内容	主に新入会員のみなさんを対象に、グリーン購入に関する研修を行う。

みんなで
グリーン市場を
つくろう！

買い物でエコ！キャンペーン

よびかけ・参加団体募集

締切
8/16(月)

実施期間：2010年10月1日（金）～2010年12月31日（金）

主催：京都グリーン購入ネットワーク 共催：京都市ごみ減量推進会議

毎日の買い物を通して温暖化防止に参加できる「グリーン購入」を普及するため、「買い物でエコ！キャンペーン」を行います。

そこで、このキャンペーンのよびかけを行う京都府内の企業、団体、市町村を募集します。ご参加お待ちしております。

呼びかけ内容

京都府民・府内の事業者を対象に、地球温暖化の防止やごみの減量につながる製品やサービスの購入をすすめるため、以下の4つのよびかけをします。

- ① 近くでとれた野菜や果物を選ぶ
- ② ごみの発生の少ない製品を選ぶ
- ③ 省エネ性能のすぐれた製品を選ぶ
- ④ 買い物袋を持参する

取り組みの
メリットは？

社員や職員の環境への理解が深まり、環境経営の質が高まります。また、エコな製品サービスが選ばれることにより、府内にグリーン市場をつくることができます。

よびかけ・
参加団体は
具体的に何を
するの？

基本は以下の2点。

- ①キャンペーンポスターを掲示する
- ②エコな買い物をよびかける「環境にやさしい買い物宣言」(チラシ)を配布、回収する。または応募をよびかける。

重点項目

今年は、LED 照明、グリーン電力の率先導入、そして、全社員・職員などへのキャンペーンのよびかけ回収の3点を重点項目として取り組みをお願いします。「重点項目」に取り組む団体は、府内に配布するポスターやチラシなどでPR いたします。(府内にポスター1000 枚、チラシ2 万枚配布予定)。

参加申し込み
方法

参加申込書(ウェブサイトからダウンロードするか、事務局までご連絡ください)に必要事項を記入し、事務局へFAX を送ってください。

締切：8月16日(月)

グリーン購入 基礎研修

グリーン購入のことがよく分からない、
どう取り組んだらいいのかわかりたい。
エコ文具は購入しているけれども、
他にどんな取り組みがあるのかわかりたい……

など、グリーン購入に取り組む手がかりに、現在の取り組みの見直しに、ぜひこの研修をお役立てください。

日 時

2010年 7月8日(木)
午前10:00から午後6:30

場 所

株式会社ウエダ本社 北ビル 2F
コラボレーションセンター(京都市下
京区五条通堺町角塩釜町363番地)
●京都市営地下鉄烏丸線「五条」駅1番出
口から東へ徒歩5分 ●京阪電車京阪本線
「清水五条」駅3番出口から五条大橋を渡り
西へ徒歩10分

定 員

30 人(先着順。定員になり次第締切)

参加費

お一人 会員1000円/非会員 3000円
(当日お支払いください)

備 考

特に、新入会員の皆様はできるかぎり2年以内に受講をお願いします。既存会員の皆様も、新任担当の方、また、登録3年以上ことを目安に受講をお願いします。

申し込み方法

組織名、お名前、お役職、電話番号、
FAX、Email、この講座で知りたいことを
京都GPN事務局までお知らせください。

講 師

グリーン購入ネットワーク事務局次長 深津 学治氏

プログラム内容

第1部	グリーン購入の基礎 グリーン購入の意義と役割、グリーン購入の 基本的な考え方、グリーン購入法について
第2部	グループディスカッション
～昼食休憩～	
第3部	グリーン購入の取り組み事例紹介 グリーン購入大賞受賞事例 他
第4部	グリーン購入ガイドライン分野の解説と質疑 応答(2分野)
第5部	グリーン購入の実践とレベルアップ
第6部	研修内容確認テスト、アンケート記入
★終了後、意見交換&交流会★	

この講座で得られること

- ・グリーン購入とは何か
- ・グリーン購入を組織内で実践する方法
- ・グリーン購入の具体的な取り組み事例
- ・受講された方には修了証を発行いたします。

主催：京都グリーン購入ネットワーク

自治体対象 グリーン購入セミナー

日時 2010年2月10日(水) 午後:200~5:00

場所 京都府庁職員福利厚生センター3階
第2・3会議室

参加者 26団体26人
内訳/市町村:16団体16人
関係一部事務組合:3団体3人
府保健所:7団体7人

2009年8月に開催した第1回自治体対象グリーン購入セミナーでは、自治体の行うグリーン購入が地域で果たす役割の大きさについて再認識し、各自治体でのグリーン購入の取組の現状について担当者同士の意見交換等を行いました。また、事務局から買い物でエコキャンペーン(10月~12月)への参加を呼びかけました。

第2回となる今回は、自治体のグリーン購入の取組とは環境配慮製品の購入だけでなく地産地消キャンペーンやエコビジネスの振興など多面的で幅の広い取組であるということを確認するため、京都GPNが本年度取組んできた各事業の概要を紹介したほか、今年度の

「買い物でエコキャンペーン」の具体的な事例としてホンダカーズ京都など民間事業者の取組みを中心に紹介しました。

さらに後半では、各自治体内でグリーン購入に取組んだり地域啓発を行うに当たって感じている課題について意見交換を行いました。職員の環境配慮意識の低下をいかにして防ぐかが課題、地産地消やフードマイレージに関する取組が手薄である、住民との連携組織の活動がマンネリ化しているなどの意見が出され、グリーン購入のもつ幅広い考え方がもっと浸透しなければならないと感じました。

参加者の感想

宇治市環境企画課 主事 中森沙希さん

グリーン購入の取組事例紹介やワークショップを行うなど、他の参加者と意見交換をする機会が得られたことは、大変貴重な経験でした。グリーン購入に関しては、これまでラベル表示があるものや規格が決まっているものを選ぶものだと思っていましたが、ラベル表示等だけではなく、価格は高いが長持ちする、愛着があり長持ちするといったこともグリーン購入というのではないかという話があり、広い視野を持って取組まなければならないと思いました。

亀岡市執行管理課 主任 森岡智子さん

当市においても、職員全体でISO関連事業などを通して環境問題に取り組んでいます。職員の意識の高まりがある中で、多少の意識の温度差もあるのが現状です。

この度初めて、グリーン購入調達に係る担当者会議に参加させていただき、公共調達を執行する業務に携わるなかで「環境に配慮した調達」にも気を配り、自分自身も何か行動を起こすことが課題であると認識しました。

ワークショップでの助言のなかで「グリーン購入に対する方針やガイドライン、調達方針を作成し、調達の結果などをホームページやWEBメールといったもので公開してはどうか?」との意見を頂きました。また、帰りがけに頂いた、環境省からの『グリーン購入取組ガイドライン』を見てみますと漫画や図でわかりやすくとめられておりました。

これから、これらのことを勉強するにあたり、よいきっかけをいただきました。ありがとうございました。

京都グリーン購入ネットワーク会員数 (2010年6月現在)

■会員数:149 (内訳:企業109/自治体6/団体24/個人10)

新入会員……松下自動機販売株式会社/共栄製茶株式会社/株式会社ウエダ本社/株式会社ワコール/他 個人2

●掲載された団体にお問合せを希望される場合は事務局までお尋ねください。

会員募集中!

お問合せ/入会申込み

京都グリーン購入ネットワーク事務局 <http://www.k-gpn.org>

[TEL] 075-241-4664 (FAX同じ) [E-mail] kgpn@dolphin.ocn.ne.jp

〒604-0932 京都市中京区寺町通り二条下る呉波ビル3階 特定非営利活動法人 環境市民 内



京都グリーン購入ネットワーク

このニュースレターは広報コミュニケーション部会メンバーによって作成いたしました。

株式会社ウエダ本社、京都市、京都府、京都府商工会連合会、京都府生活協同組合連合会、長岡京市、南丹市、株式会社ホンダカーズ京都 (50音順)